

## MSW(医療ソーシャルワーカー)をご存じですか？

MSWとは、保健・医療の現場で働く社会福祉の専門職です。  
医療が必要な患者さんやご家族の方々が安心して治療に専念できるよう、治療や療養の妨げになる生活上の問題を共に考え、よりよい解決への糸口を見出すお手伝いをしています。

例えば・・・



こんなときは、1人で悩まずにMSWに相談してください。

**当院には、3名のMSW(医療ソーシャルワーカー)がおります**

1階ローソン(売店) 横にある『医療相談室』に2名。(大島・塚本)

ローソンを通り過ぎ「ゆきだるま」の看板を左折して進んだ突きあたりにある「こころの総合支援センター」に1名(黒木)おります。



JA北海道厚生連  
北海道厚生農業協同組合連合会

北海道虻田郡倶知安町  
北4条東1丁目2番地  
電話 : 0136-22-1141  
FAX : 0136-21-4388

### 編集後記

毎日毎日飽きもせず雪が降り続いております。太陽の光が恋しくなっているのは私だけでしょうか？先月、久しぶりに快晴の日が何日かありました。太陽の光に照らされた羊蹄山がとても神秘的に見えたことに感動を覚えました。こんな日がずっと春まで続いてくれたらなと思う毎日です。

まだまだ2月・3月と雪の日が続くことと思います。皆様体調管理には十分気をつけて、楽しく元気に『雪かき』に励んでいきましょう。なお、『雪かき』の際には、屋根からの落雪や車に注意しながら行うよう心がけましょう。腰を痛めることのないように。(S. Y)

冬 第3号

JA北海道厚生連  
倶知安厚生病院  
院外広報誌

# 笑顔だより



## 目次

当院の産婦人科診療について	P.1
精神科訪問看護のご案内、 産婦人科分娩体制	P.2
訪問看護ステーション	P.3
MSW(医療ソーシャルワーカー)	P.4

## 当院の産婦人科診療について

【産科】これまで分娩数制限で地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしてまいりましたが、診療体制が整い、昨年4月より分娩数制限を撤廃し希望者全員の分娩を取り扱わせていただいております。ただし、高血圧や糖尿病などの合併症がある場合は、より高度な能力のある病院へ紹介する場合があります。また、高齢妊娠の方も慎重に診ております。帝王切開も扱っております。パートナーの立ち会いも多くおこなわれています。

早産は赤ちゃんにとっては危険性が高いので、できるだけ早産を防ぐよう診療しています。何もしないでいると早産になりかねない状態を切迫早産と言いまして、内服薬を自宅安静で何とか外来で診ていける妊婦さんも多いですが、入院が必要に



なる妊婦さんもおられます。早産の危険性が大変高い場合は周産期センターへ母体搬送する場合があります。

当院の特徴として、助産師外来が週2回、月曜と火曜の午後に行われています。自分らしいお産の準備ができるようにきめ細かなサービスを提供できるので人気が高く、今後枠を増やすことを検討中です。毎回、助産師外来終了後、医師へ報告が来ます。もし異常があれば医師が診察します。

【婦人科】外来中心ですが、北海道大学病院をはじめとする札幌市内の基幹病院と連携をとりつつ、婦人科全般を診ています。

子宮がん検診は、早期発見・早期治療が大変重要ですので力を入れています。必要に応じて、子宮頸部の組織生検や子宮頸がんの原因であるヒトパピローマウイルスに感染しているかどうかの検査をします。早期がんまでなら検査と治療を兼ねた子宮頸部円錐切除術を当院で受けられます。ヒトパピローマウイルスの予防接種もしています。最近全国的に20歳代や30歳代の子宮頸がんの患者さんが増えていますので若い方も子宮がん検診を受けることをお勧めします。

今年は更に体制を整えて、地域の皆様により良い産婦人科医療を提供して参りたく、スタッフ一同張り切っております。皆様よろしくお願いたします。

## 精神科訪問看護のご案内

本誌昨号でご紹介させていただいた当院「こころの総合支援センター」で行なっております**精神科訪問看護**の紹介をさせていただきます。

### 精神科訪問看護とは・・・

精神科の専門スタッフが利用者様のご自宅に伺い、日常生活上の支援をさせていただくものです。当院では主に専門の看護師が、プライバシーに配慮し、私服、乗用車でご自宅に伺いますので、安心してご相談いただけるかと思えます。また、主治医、作業療法士、精神保健福祉士らとも密接に連携をとり支援を行っております。

### どうして家に来るの？

こころの健康問題を持つ方の支援として患者様が実際に生活する場（＝ご自宅）での支援の有効性が注目されています。

こころの健康問題は、実際の生活場面での過ごし方やストレスとなる出来事に大きな影響を受けます。毎日の食事や睡眠、ご家庭や職場での悩み、人間関係、内服や治療を継続する上での悩み等、こうした生活の中でのひとつひとつの出来事にどの様に対処するかが重要であるため、病院の中だけではなく、その場で相談やお手伝いをさせていただくことが大切になります。

### ～今や身近なこころの問題～

昨年「精神疾患」は、厚生労働省により「がん」、「脳卒中」、「心臓病」、「糖尿病」となる5大疾患のひとつと位置付けられました。精神疾患（統合失調症、うつ病、認知症）をもつ方の数は300万人を越え、この人数は糖尿病の230万人を超える数となっております。こころの問題が、我々にとっていかに身近な問題となっているか、おわかりいただけるかと思えます。

ご利用をお考えの方は、当院「精神神経科外来」、もしくは「こころの総合支援センター」にご相談ください。

## 産婦人科分娩体制について

当科は近隣の医療機関と連携し、地域の患者様に良質な産婦人科医療サービスを提供することを目的に産婦人科診療に取り組んでおります。ここ数年、医師不足に伴い分娩制限を行わざるを得ない状況が続き、近隣住民の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、平成23年4月より診療体制が整ったため、より多くの分娩を実施することが可能となりましたのでご案内致します。公的な医療機関の使命としてできるだけ多くの分娩を取り扱えるよう、これまで以上に産婦人科の医療の質並びに出産時の安全を図り、診療体制の充実・強化に努めて参ります。



## 訪問看護ステーション

ようてい訪問看護ステーションは、平成11年11月開設以来12年間羊蹄山麓7か町村の在宅看護を必要とされる方の生活の支援をさせて頂いています。

現在148名がご利用になっています。

私たちは、家族を含めた利用者のニーズを把握し、その人の価値観・意思・生活を尊重しながらその人らしい自立を目指して、心に寄り添ったケアを提供して行きたいと考えています。

### 医師の指示を受けて次のようなサービス提供しています。

- |                               |                          |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 病気の状態観察と処置                 | 5. 薬の飲み方と管理              |
| 2. 療養上の相談                     | 6. 家庭でのリハビリテーション         |
| 3. 食事・清潔・排せつなど日常生活支援          | 7. 家族への介護指導や健康問題などへの相談等々 |
| 4. 医師の指示による医療的処置<br>(医療器具の管理) | 8. 様々なサービスの紹介            |

### ようてい訪問看護ステーション（ST）からご家庭に訪問しているスタッフを紹介します



倶知安キーST担当、文字、岡本、金子、柏原、小塚、中村早です。60名の訪問をしています。



蘭越サブST担当、高橋美由樹です。25名の訪問をしています。



ニセコサブST担当、中村正美です。ニセコ、真狩30名の訪問をしています。



喜茂別サブST担当、永井香代子です。喜茂別、留寿都、京極の33名の訪問をしています。

### 倶知安厚生病院 リハビリ部門から応援しています



喜茂別、留寿都、京極、蘭越、ニセコ、真狩のリハビリ担当、本山裕です。



倶知安のリハビリ担当、江口啓介です。

訪問看護をご希望の際は、ようてい訪問看護ステーションにお電話下さい。

TEL: 0136-21-2297

### 倶知安厚生病院ホームページのご案内

<http://www.dou-kouseiren.com/byouin/kutchan/>

昨年6月よりリニューアルいたしました。各診療科担当医のご案内など、患者様ご家族の方にわかりやすい内容となっております。是非アクセスしてみてください。